



## 女もすなる都市計画 開催報告！ 1月20日開催 第二段 第二回 in 静岡 「景観を考えてみよう」 第一回 in 静岡

昨年で全12回を終えた、女もすなる都市計画勉強会。大好評につき、模様替えして第二段を始めることが決定しました。毎回テーマを設定し、隔月で静岡と浜松にて実施します。

### ◆第一回のテーマは「景観」

＜景観行政は地方自治体が先行＞

高度経済成長期、急速な都市化の中で、建物や基盤整備は効率性が最重視された結果、都市空間は画一的で潤いに欠けるものとなってしまった。安定成長期（1970年～90年頃）を迎え、「量から質への転換」や「潤いのあるまちづくり」への関心が高まる中、全国の自治体で「景観ガイドライン」の策定や景観条例が制定等、“景観”形成の取り組みが活発化した。こうした動きに法的な裏付けを与え、地方の主体的な取り組みを法律によって後押しする形で、国は2005年に景観法を制定した。景観行政は地方が先行していたわけである。

＜景観形成こそ協働のまちづくり＞

景観は、公共空間のみで構成されるわけではなく、民間の土地利用や建物のあり方が大きく影響する。そのため、より良い景観づくりには、住民の主体的な参画による行政との協働が不可欠となる。こうした取り組みの動機づけには、“魅力的な景観を後世に残すことの価値”を住民自身が認識することが重要である。

景観まちづくりに取り組む現場でよく耳にする議論がある。「景観づくりは住む人のため？ or 観光客のため？」景観づくりには、ルール

づくりや規制が伴う。目的が“観光”にあるという意識を抱いた住民は、観光のために自分たちの自由が阻害されると考えがちである。良い景観は、地域のアイデンティティを醸成し、住む人にとっての誇りとなり、子供たちに価値ある地域を残すことにつながるのだという意識を住民自身が持つことが何より大事となる。“日常を美しくする”ことは当たり前とする意識を持ち、私たち自身が高度経済成長期の効率性、経済性一辺倒の考えから抜け出すことが求められると感じる。

### ○まちの個性を大事にする意識が始まり～宇津ノ谷地区（静岡市）

静岡市で景観整備によりまちの魅力を高めた例として、宇津ノ谷地区がある。静岡市において歴史的な風情を残している数少ない街並みの一つである。以前は、「街並み保全＝規制」への抵抗感のためか、景観の取組みへの関心はあまり高くはなかった。街並みは「残してきたのではなく」「残っただけ」という声もあり、住民自身がその価値を認識していない様子が見られた。

変化の契機は、「街並み保全」ではなく「丸子路歩くまちづくり」を住民参加で考える取組み。若者や女性の参画を仕掛けながら、将来の宇津ノ谷地区に残していくべき資源、価値とは何なのかを改めて見つめなおす中で、「やっぱりこの街並みが、他のどこにもでもあるようなものになったら地域の魅力は無くなってしまふ」と住民自身が認識し始めたこと。静岡市景観条例の支援制度を有効に活かしながら、景観まちづくりを進める中で、様々な賞を受賞し、観光客等から評価されることが、住民の励みや誇りとなり好循環を生んでいる。



### 第七回講演会開催報告

#### スポーツが拓く都市の魅力 ～チャレンジ！まちづくりへの活用～

1月29日(金)に第七回講演会「スポーツが拓く都市の魅力」を開催。雨の中、たくさんの方にお越しいただきました。

**本当にありがとうございました！！**

#### 第一部 山谷拓志氏

##### 「スポーツを核とした地域活性化」

スポーツによる地域活性を、施設というハード面と、みるスポーツの活用というソフト面、両方の視点で読み解き地域でスポーツを活用することの可能性をお話いただきました。

##### ●みるスポーツの可能性

アメリカにおけるスポーツ産業市場は、自動車・医薬品業界よりも大きい。この市場規模をふまれば、日本はスポーツというコンテンツを産業として投資し、地域のために活用すべきである。しかし、サッカーにおけるJクラブのように、スポーツを日常に浸透させるまでの装置をもつ競技はなく、もっとみるスポーツの活用をしていくべきだ。



##### ●スポーツ施設について

日本は、体育を教育として組み込まれていたことを背景に、“するスポーツ”へのニーズが非常に高い。利用されなくなった施設の数多くは、大きな大会開催に合わせて、するニーズしかないところに中途半端にみるという概念をふまえて建設したことが多い。これからはスポーツの魅力を最大限引きだせるように、ソフトとハードを一体的に考える必要がある。

##### ●仕事をする上で大事にしていること

変えられるものと変えられないもの分類することが重要。例えば、自分や自組織、未来を変えることはできるが、他人や環境、過去を変えることはできない。変えられないことで気分を下げるのではなく、自分たちの取り組みや思考によって、未来を変える意識を常に持っている。

#### 第二部 渡部晋氏

##### 「静岡県中部におけるスポーツを活かした地域活性化」

渡部氏が会長を務めている中部地域スポーツ産業振興協議会(以下: SMATT.SC)の活動を中心に、地域活性におけるスポーツの活用事例をお話いただきました。

##### ●SMATT.SCの目的

スポーツビジネスによる地域活性化で、静岡を住みたい街に変えていくことを掲げている。そのために、様々な業種間でコミュニケーションする場を提供し、スポーツの魅力を最大限活かしながら、新たな産業・雇用の創出を目指している。



##### ●渡部氏の想い

自分が静岡にきた理由がサッカーにあるように、スポーツのキーワードである、「人をつなげる」ことを活かし、スポーツをコミュニケーションの場とすれば地域はもっと盛り上がる。今後、静岡が全国から注目されるために、様々なスポーツ大会の誘致や、「スポーツに関わる仕事ができる静岡」を発信できるようスポーツ産業を育てる必要がある。そして、このスポーツの力を、今だけでなく、子どもたちが活用できるようにしていきたい。

裏に続く→

### 第三部 交流会 「参加者×講師 による交流会」

参加者の皆さまからいただいた質問・感想をもとに、講師の方とディスカッションをしました。



▲参加者の方から、その場で疑問や意見が飛びだし、活発な議論を交わすことができました

#### こんな質問がありました！

- ・岩手県紫波町のバレーボール専用体育館など専用施設が注目されているが、どのようにお考えですか
- ・(停滞し)活性化しなければいけない地域をスポーツ振興で元気にさせるためにはどうすればよい？
- ・海外事例のお話を聞いていると、スポーツだけの売り方をしていないことがわかった。シカゴではプロスポーツチーム、大学、交響楽団など世界トップクラスの団体がおり、それらは余暇市場を取り合うというよりも、お互いを高めあっているように感じた。日本はこのあたりの取り組みが進んでいないように思えるがなぜ？
- ・広島でもサンフレッチェ広島F.C、広島東洋カープ、交響楽団間で交流(交響楽団の演奏会で試合の宣伝するなど)があり、人の行き来があるだけ日本でも可能性があるのでは？
- ・静岡にサッカー文化があることや、渡部さん自身もサッカーが好きということもあり、他競技へ広がり求められることに対してジレンマはない？
- ・球団(スポーツ産業)のメインターゲットは？ etc.

講師は、一つ一つの質問に、丁寧に答えてくださいました。詳しくはこちらのサイトをご覧ください。

<http://npofuji.jp/web1/fujituushinpage>



### 今後の活動情報

#### ◆ まちづくり勉強会 第二段 ◆

昨年で全12回を終えた、女もすなる都市計画勉強会。好評につき、模様替えして第二段を始めることが決定しました。毎回テーマを設定し、隔月で静岡と浜松にて実施します。テーマとしては、「景観」「緑の保全と創出」「公共交通」「都市と農村」「地縁と志縁のコミュニティ」etcを予定しております。関心のある方は、HPで予定を確認いただき、事務局までご連絡下さい。次回予定は、

浜松会場：2月10日(水) 18:00~21:00  
静岡会場：3月16日(水) 18:00~21:00

今後の予定(日程未定)

浜松市：4月、6月、8月、10月、12月 18:00~21:00  
静岡市：5月、7月、9月、11月 18:00~21:00

#### ◆ ご挨拶 ◆

本年も宜しくお願ひいたします！

今年も新たな1年がはじまりました。

当NPOは、本年で3年目を迎えます。皆さまのご期待に応えられるよう、精一杯努めてまいります。どうぞ今後ともご支援ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

#### ◇ お申込み方法 ◇

本誌右下の連絡先まで、FAXまたはE-mailにて、①ご参加希望の講演会または勉強会の名称・開催日・勉強会は会場、②お名前、③ご連絡先の住所・電話番号・FAX番号・E-mail、④ご所属、⑤交流会への参加有無をご連絡ください。費用は当日受付にてお支払ください。※最新情報は、当NPOのHP (<http://npofuji.jp>) 参照ください。

### ちょっと注目！

講演会で話題になった、スポーツを活かした地域づくりについて、調べてみました。

#### ● 秋田県

秋田県は、スポーツを秋田の活力と発展のシンボルとし、スポーツを通じた秋田の元気づくりと地域の活性化、生涯を通じた豊かなスポーツライフづくり、競技力のレベルアップによるスポーツ王国の復活をめざすとして、平成21年9月に「スポーツ立県あきた」を宣言した。

#### 「スポーツ立県あきた」宣言

一方で、観光を総合戦略産業と位置付け、観光、文化、スポーツの振興は交流人口の拡大を通じた地域活性化に繋がるとし、平成24年度より知事部局に「観光文化スポーツ部」を創設している。行政からプロスポーツ球団へと金銭的支援制度もあることが、講演会で紹介された。



←県内スポーツ情報を一元化した秋田県スポーツ情報ステーション

<http://akitasports.com/>

#### ● 広島県

広島3大プロ・コラボレーション



<https://www.sanfreccce.co.jp/hometown/p3.html>

広島県民・市民に対して、3大プロ(広島交響楽団・サンフレッチェ広島・広島東洋カープ)を身近に感じてもらうために、スポーツ・音楽啓発活動を中心に継続的に事業を展開。

- ①招待事業  
広島県民を対象に、3大プロの試合、演奏会をセットにして招待。
- ②学校訪問  
3大プロが同一日に学校を訪問。音楽教室、サッカー教室、野球教室、を開催。
- ③その他交流イベント  
例)「カープシンフォニー」  
交響楽団の演奏会に広島東洋カープの監督や選手が登場。カープをテーマにした曲を演奏。

### 会員募集

当NPOの趣旨にご賛同いただき、会員になってくださる方を募集しております。まちづくり・むらづくりに関心のある、支援・参加したい方々をお待ちしております。正会員には講演会レポートや会報「FUJI通信」の送付、当NPO主催の講演会等への参加費の割引/無料等の特典がございます。

#### ○会費：

入会金) 正会員 3,000円 賛助会員 1,000円  
年会費) 正会員 6,000円/一口 賛助会員 1,000円/一口

#### ○振込先：

静岡銀行清水中央支店 (店番 144) 普通 0950668  
特定非営利活動法人まちづくりサポーターF U J I  
理事 川口宗敏

トクヒ) マチツクリサポーターフジ

#### ○お申込み：

上記振込先にお振込み後、下記連絡先まで、FAXまたは、E-mailにて、①お名前、②ご連絡先の住所・電話番号・FAX番号・E-mail、③ご所属、④お振込み口数をご連絡ください。ご連絡先は、お勤め先でもご自宅でも結構です。後日、領収書と会員番号をお送りします。

### 連絡先



NPO法人まちづくりサポーターF U J I 事務局  
電話 : 053-525-8511 FAX : 053-533-3203  
E-mail : [info@npofuji.jp](mailto:info@npofuji.jp)